

きました。つき上った餅は、小さくちぎり一人一人の茶わんに入れ、それぞれ、大根おろしやアンコ、きな粉などをつけて食べてくださいました。皆んなの食べた残りはのし餅にした、これをくり返し、三回目にはもう皆さんお腹が一杯だと言われたので殆どをのし餅にした程でした。皆さんにおいしさと熱気でお腹一杯になつたあとは、片づけとお決まりのおしゃべりをして、会長の色々な作品やお茶室も拝見させて頂きお礼を言つて解散となりました。

これからも地区の皆さん参加して頂ける様な行事を、色々と考えながら役員一同元気で頑張つて行こうと思っております。よろしくお願い致します。

## 猫

形原地区 渡辺 ヤエ子

ある日、物置に一匹の猫が捨てられていた。まだ乳離れしたかしない様な小さな猫。なんで私の家の物置に捨てていったのだろう。可哀想な事をするものだ。なぜ捨てたのだろう? 猫をよく

見ると目がすごく汚れている。早くちぎり一人一人の茶わんに入れ、それぞれ、大根おろしやアンコ、きな粉などをつけて食べてあげたが、どうもおかしい。両目が開いたままながらのめくらの猫でした。だからここへ捨てて行ったのです。普通でしたら、とてもきれいなグレーの猫、きっと捨てはしなかつたでしょう。それがめくら故に捨てられてしまったのでしょうか。

動物でも命は命、それ故に人の家へ持つて来たのでしょう。私共は可哀想なので首輪やひもを買って来て育てることにしました。普通しつかりと結んで仕事に出掛け、帰れないだけに色々となれさせる迄は大変でした。首輪をし、ひもで

つた時にはその首輪がはずれ猫がない。

近所中を探し回つても見つからず、すぐそばに川が流れしており、川の中を見たら猫が落ちているではないですか。急いで川の中に入つて助けました。まだあまり水がなかつた時でしたので助かりました。

現在もう二年もたちましたので、

私が見えなくとも食事をする場所、トイレをする場所、寝る場所は心得たものです。

そして野良猫が子供を産んで食事も出来る様になつたら、何時の

間にか一緒に寝ております。今は、小猫が四・五匹位夜になると寝床に入つております。動物同士はいじわるする事もなく、何時も静かに寝ております。

今の世の中は動物の世界よりもおどりますネ。人の肩が触れたとか、目と目が合つたとかですぐ殴つたり、けんかをしたり何故に冷静にはなないのでしょうか? 人間同士生きるために、まず一步さがつて、生きる道を進んで行かなけばいけないと思います。

この様な動物達の生きざまを見れば、人間である事の恥を知るべきですネ。

私は、あとどの位生きるか、わからりませんが、笑顔を持つて毎日毎日を生きて行きたいと思いました。

## 心の時代

府相睦美会 中根 恭

私の家の近くに公園があります。区画整理事業で造成された児童遊園地ですが、街の中の公園としては比較的広く、ブランコやすべり台等の遊具の他に花壇や篠棚もありますが、それよりも自慢し

たいものがあります。

それは、広い園内のまわりを囲んでいる桜の木です。春は満開の花、秋は紅葉で地元住民の憩いの場として親しまれ、愛されております。

このよう公園を地域住民も自分達のものと考え、将来の子供達のために大切に守つて行こうと、草取りや清掃に努めています。

ところが一つ気がかりな事があります。それは、この公園の周囲の道路に自動車が駐車した跡に煙草の吸殻が捨てられているのを見かける事が多いことです。

先日、私が見かけたのは、公園の入口近くの道路端で、おそらく車内の灰皿にたまつて吸殻をゴソリ捨てたものでしよう。私はこの光景を見た時、一瞬立ちを覚えましたがやがて悲しくなりました。ここは児童遊園地です。将来の日本の国を託す子供達がこの心ない大人の行為を何と感じただろうか、私は思わず考えさせられてしましました。

私はこの時、ふと自分の小学生の頃(昭和の始め)を思い出しました。その頃は朝起きると、どの家も前の道路を掃除するのが日課